

No. 1178 オーストラリアが水素エネルギー利用の国家戦略を作成

2019年4月26日
株式会社ユニバーサルエネルギー研究所

注： 下記作成中の国家水素戦略が公開されました。
(2019.11.25)
“AUSTRALIA’S NATIONAL HYDROGEN STRATEGY”
(136pages、16.7MB)
<https://www.industry.gov.au/sites/default/files/2019-11/australias-national-hydrogen-strategy.pdf>

オーストラリアでは、2018年頃から下記のような水素エネルギー利用に関する各種報告書が発表され、水素エネルギー利用の機運が高まってきています。(参考資料 1, 2, 3)

1. ARENA (Australian Renewable Energy Agency、オーストラリア再生可能エネルギー機関) による報告書“Opportunities for Australia from Hydrogen Exports”
2. CSIRO (Commonwealth Scientific and Industrial Research Organisation、オーストラリア連邦科学産業研究機構) による報告書“National Hydrogen Roadmap”、
3. 政府の Chief Scientist が率いる Hydrogen Strategy Group による Vision Statement “Hydrogen for Australia Future”

また、2019年1月には野党の労働党も「National Energy Plan」(国家水素計画)を発表しています。

1. オーストラリア政府による「国家水素戦略」の策定

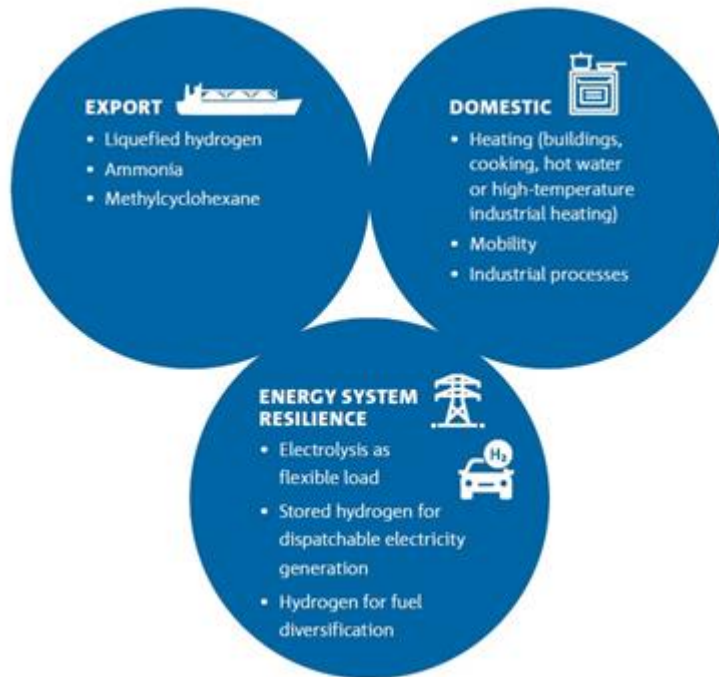
オーストラリア政府は2018年12月に National Hydrogen Strategy (国家水素戦略) の作成を正式に決定し、2019年に入ってから次のスケジュールで策定作業に入っています。

- 1月 ステアリング委員会とタスクフォース発足、国際協力を開始
- 3月 討論ペーパー“National Hydrogen Strategy - request for input”を発表、コメントの募集
103件のコメントを受理し発表
- 4月 水素輸出に関するペーパーを発表しコメント募集

パブリック・コンサルテーションを段階的に推進

12月 国家水素戦略を大臣（複数）に提出

オーストラリアの水素戦略で特徴的なのは、下の全体構成の図にあるように水素の輸出が3大項目の一つになっていることで、これまでの石炭やウランなどのエネルギー輸出産業の継続としてその可能性を検討していることです。



これまでに集まった 103 件のコメントは、関連業界、関連団体、学界、個人など種々で内容も種々です。大方の意見として、水素エネルギーを利用するならばそのエネルギー源は再生可能エネルギーであることが目に付きました。また、専門家からは水素の製造～利用の効率や価格に関するコメントもありました。

2. 労働党の「国家水素計画」の発表

オーストラリアの労働党（党首：Bill Shorten）が2019年1月「National Hydrogen Plan」（国家水素計画）を発表しています。オーストラリアは2019年在、保守連合（自由党と国民党）が政権をとっており、2013年まで政権の座にあった中道左派の社会民主主義政党である労働党は野党になっています。

この「National Hydrogen Plan」は2019年の連邦選挙に向けて発表した総額\$1.14 billion（888億円）のエネルギー計画で、「新興の水素産業でオーストラリアを世界のリーダーにする」「雇用・輸出・燃料確保の促進とエネルギー/運輸/産業セクターの汚染削減する」と謳っています。

す。(参考資料 4, 5)

労働党の「National Hydrogen Plan」と題する 1 ページの発表文 (Fact Sheet) では、次のように述べています。

- ・ 日本は東京オリンピックを「Hydrogen Olympic」にするとしており、日本や韓国などオーストラリアの重要な貿易相手国が水素経済への移行を表明している。
- ・ オーストラリアの低価格の再生可能エネルギーとアジア市場に近いことから、他の水素生産国であるカタールやノルウェーに比較して顕著な価格優位性を持っている。
- ・ オーストラリア自身のクリーンエネルギーへの転換とともに、水素は莫大な輸出可能性がある。

現存の LNG インフラと Gladstone (東海岸、クィーンズランド州) にある水素の概念実証プラントは、水素の輸出ハブとして非常に大きいポテンシャルを有している。



この労働党の発表文では実施項目として次を挙げています。

- ・ 研究・開発・商用化
- ・ 水素の配備・産業開発
- ・ 水素の規制の整備
- ・ 国家水素革新ハブ

各項目について概要・資金額を示しており、また資金提供管理は CEFC (Clean Energy Innovation Fund)、業務実施は ARENA (Australian Renewable Energy Agency) と主担当機関名を挙げています。

(2019.04.26 堀 雅夫)

参考資料

1. ARENA “Opportunities for Australia from Hydrogen Exports” (2018.08.17)
<https://arena.gov.au/assets/2018/08/opportunities-for-australia-from-hydrogen-exports.pdf>
2. CSIRO “National Hydrogen Roadmap” (2018)
<https://www.csiro.au/en/Do-business/Futures/Reports/Hydrogen-Roadmap>
3. Australian Government Hydrogen Strategy Group “Hydrogen for Australia Future: A briefing paper for the COAG Energy Council Prepared by the Hydrogen Strategy Group” (2018.08)
https://www.chiefscientist.gov.au/wp-content/uploads/HydrogenCOAGWhitePaper_WEB.pdf
4. Australian Government “National hydrogen strategy open for public consultation” (2019.03)
<https://consult.industry.gov.au/national-hydrogen-strategy-taskforce/national-hydrogen-strategy-request-for-input/>
5. Renew Economy “Federal Labor targets renewable hydrogen with \$1bn energy policy play” (2019.01.22)
<https://reneweconomy.com.au/federal-labor-targets-renewable-hydrogen-with-1bn-energy-policy-play-29243/>
6. Resources Review “Labor announces \$1b plan to ‘supercharge’ Australia’s hydrogen industry” (2019.01.23)
https://www.nationalresourcesreview.com.au/news_article/labor-announces-1b-plan-to-supercharge-australias-hydrogen-industry/

以上